

岩手県感染症週報

平成25年第11週(3月11日～3月17日)

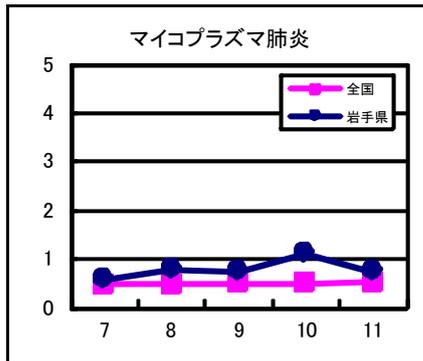
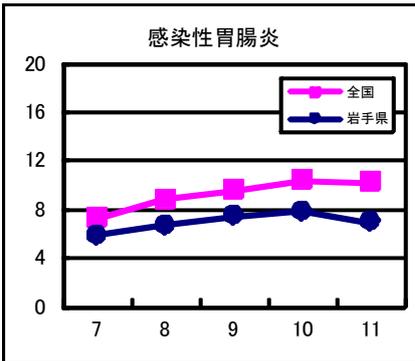
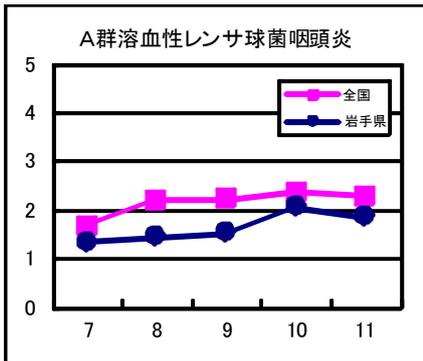
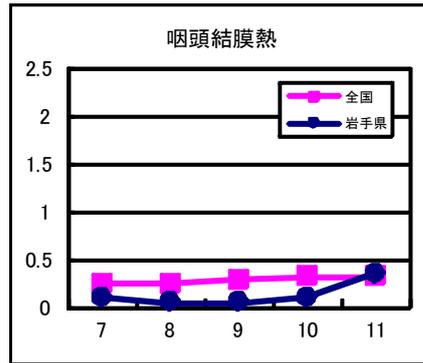
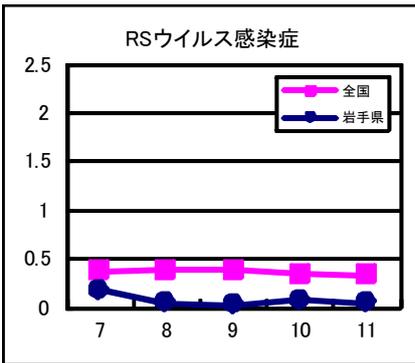
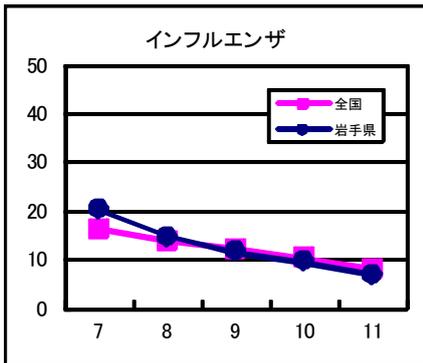
岩手県感染症情報センター

第11週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・ 中学校1年生と高校3年生相当の年齢の方は、平成20年度から平成24年度までの時限措置で麻しん・風しんの定期予防接種の対象となっています。対象であって未接種の方は、3月末までにワクチンの接種が勧められます。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・ インフルエンザは、定点あたり患者数が6.94人と前週より減少し、県は1月30日に発した「流行警報」を解除しました。地区別では、奥州および宮古地区で注意報値(同10人)を超えており、引き続き注意が必要です。咳・くしゃみ等の症状がある場合は、マスクをするなどの咳エチケット、外出後の手洗いなどの予防対策が重要です。
 - ・ 感染性胃腸炎は、前週より減少しましたが、ノロウイルスによる集団事例が発生しており、引き続き注意が必要です。予防には、帰宅後、食事前、用便後の石けんと流水による手洗いと、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		7	8	9	10	11		
インフルエンザ	岩手県	20.23	14.66	11.55	9.45	6.94	↘	☆
	全国	16.31	13.9	12.26	10.37	8.13		
RSウイルス感染症	岩手県	0.18	0.05	0.03	0.08	0.05	→	
	全国	0.37	0.38	0.38	0.34	0.33		
咽頭結膜熱	岩手県	0.1	0.05	0.05	0.1	0.35	→	☆
	全国	0.25	0.25	0.29	0.32	0.32		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.35	1.45	1.53	2.05	1.85	→	☆
	全国	1.67	2.2	2.23	2.37	2.28		
感染性胃腸炎	岩手県	5.83	6.68	7.45	7.83	6.9	→	☆
	全国	7.29	8.81	9.59	10.39	10.18		
水痘	岩手県	0.63	0.6	0.9	0.58	0.9	→	☆
	全国	1.04	1.28	1.06	1.23	1.08		
手足口病	岩手県	0.05	0.1	0.05	0.03	0.05	→	
	全国	0.17	0.19	0.18	0.2	0.2		
伝染性紅斑	岩手県	0.2	0.33	0.33	0.18	0.13	→	☆
	全国	0.05	0.05	0.06	0.05	0.05		
突発性発疹	岩手県	0.28	0.23	0.4	0.2	0.53	→	☆
	全国	0.41	0.45	0.47	0.48	0.5		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.5	0.83	0.83	0.65	0.73	→	☆
	全国	0.21	0.24	0.23	0.25	0.24		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.08	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.07	0.57	0.15	0.38	0.62	→	☆
	全国	0.39	0.42	0.47	0.48	0.43		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0.05	→	
	全国	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.58	0.79	0.74	1.11	0.74	→	☆
	全国	0.48	0.49	0.51	0.5	0.53		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.04	0.02		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		7	8	9	10	11		11	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	3 (1)	4 (1)	4 (2)	4 (3)	0 (0)	41 (20)	344	4732
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	24
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	2	0	2	9	135
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	12
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	4	10
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	7	30
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	8	32
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)				0	0	0	2	2
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	32
	デング熱	0	0	0	0	0	0	3	29
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	11
	野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	2	
レジオネラ症	0	0	0	1	0	1	11	153	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 7	8	9	10	11	累計	11	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	14	198
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	43
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	1	0	0	0	0	2	6	103
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	4	35
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	45
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	1	0	1	23	262
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	13
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	2
	梅毒	0	0	0	0	0	0	18	189
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	風しん	0	0	0	0	0	1	286	2021
	麻しん	0	0	0	0	0	0	8	62

今注目の感染症

風しん

風しんは、風しんウイルスによっておこる、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。風しんウイルスは患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他の人にうつります。発疹のでる2～3日前から発疹がでた5日くらいまでの患者は感染力があると考えられています。

風しんの予防にはワクチン接種が有効です。定期予防接種の対象者（1歳、年度内に6歳、13歳、18歳になる方）は年度内に接種しましょう。

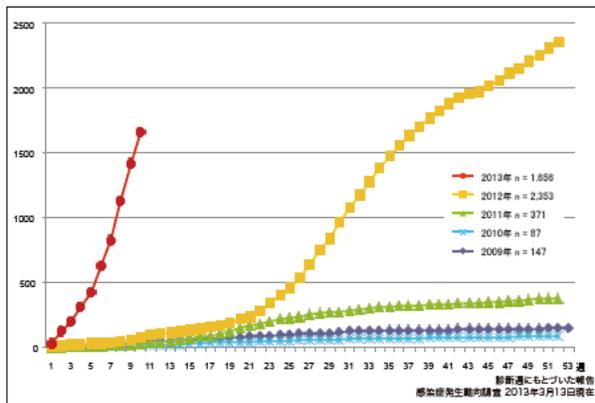
免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風疹症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。妊娠を希望する女性や、その家族などの成人も、風しんの罹患歴や予防接種歴がない、または不明な場合には積極的に風しんワクチン接種を受けることが勧められます。

平成25年の全国の風しんの報告は、第10週までに1,656例（3月13日時点）となり、平成24年の同時期と比較して約20倍となっており、特に関東地方において報告数が急増しています。

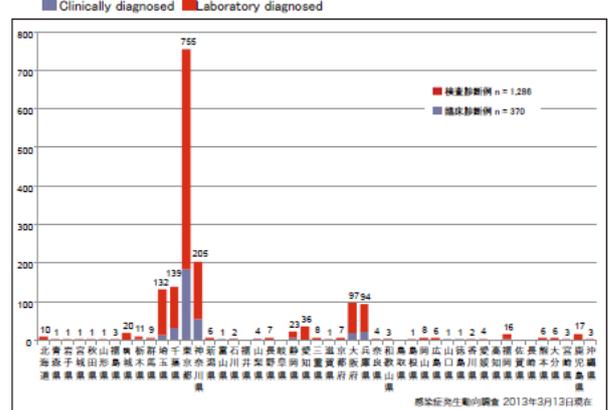
岩手県での平成25年の報告数は、1例です。

参考 国立感染症研究所 感染症情報センター「風疹」
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

1. 風しん累積報告数の推移2009～2013年 (第1～10週)
 Cumulative number of rubella cases by week, 2009-2013 (week1-10)
 (based on diagnosed week as of March 13, 2013).



4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2013年第1～10週 (n=1,656)
 Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis from week 1 to week 10, 2013
 (as of March 13, 2013).



国立感染症研究所 感染症情報センター

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

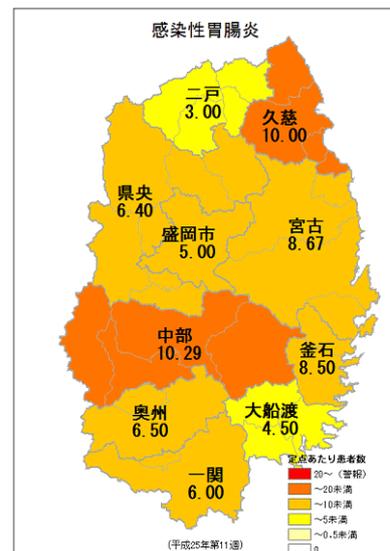
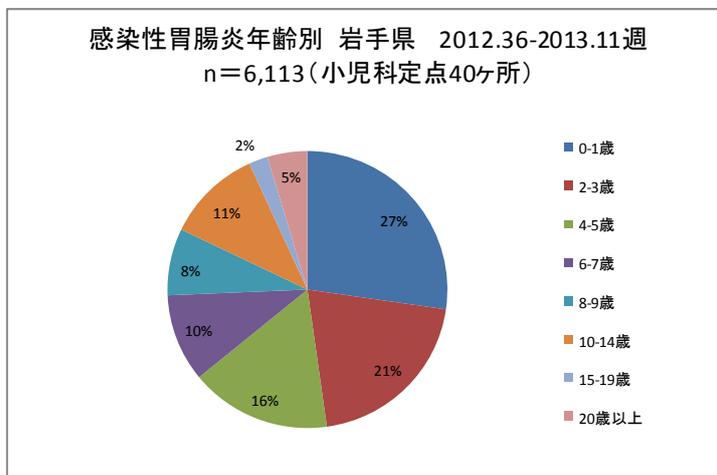
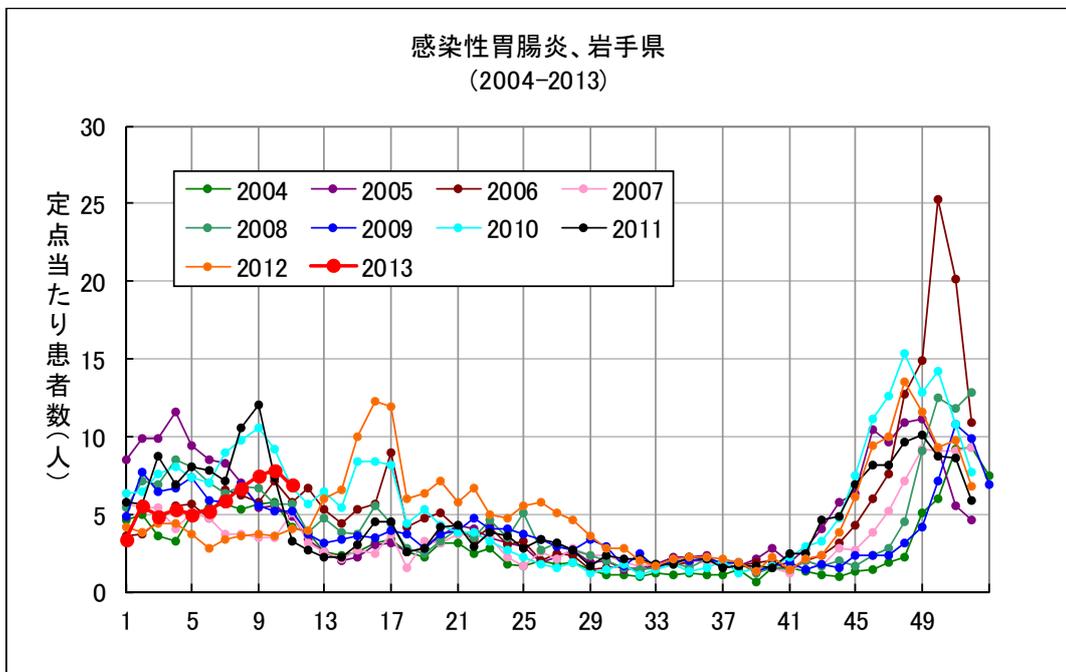
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、
「医療従事者・施設スタッフ用」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>



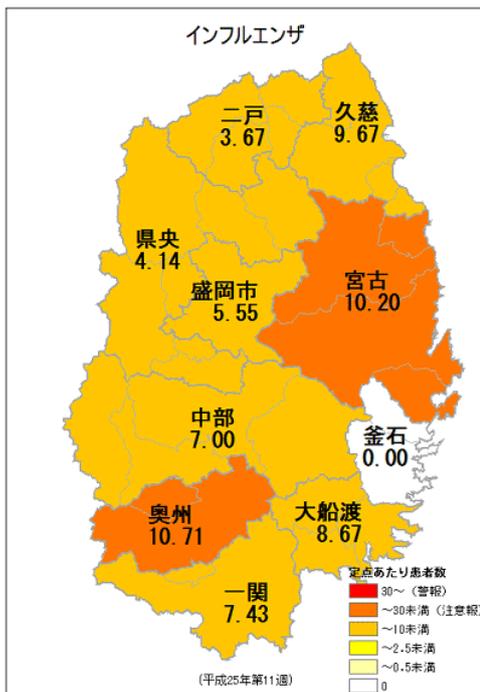
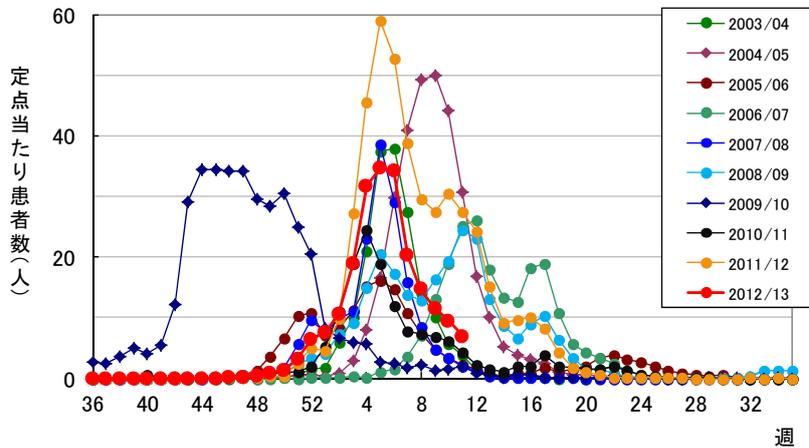
今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

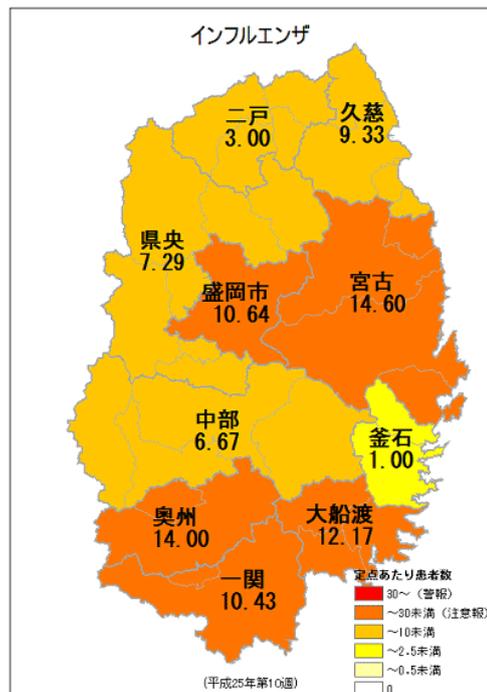
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。潜伏期間は1～3日間で、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続きます。約1週間ほどで軽快するのが典型的な症状ですが、いわゆる「かぜ」にくらべて全身症状が強く、重くなりやすい疾患です。症状がある場合や「かかったかな?」と感じた場合は、重症化を防止のため48時間以内の医療機関への受診が勧められます。また、発症後5～7日間はウイルスを排出すると言われており、熱が下がったとしてもすぐに登校(出勤)しない、咳・くしゃみなどの症状がある場合にはマスクをするなど、周囲への配慮が勧められます。

岩手県での今シーズンの発生状況ですが、第50週には流行の開始のめやすである定点あたり患者数1.0人を超えました。平成25年第2週には10.55人と注意報値(10人)を超え、第4週には31.63人と警報値(30人)を超えて本格的な流行の時期を迎えました。第5週に34.58人とピークを迎え、第6週から減少し第11週には6.94人となりました。

インフルエンザ、岩手県



第11週



第10週

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、A香港型インフルエンザウイルスが17例、B型インフルエンザウイルスが2例分離検出されました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス1型が1例、アデノウイルス6型が1例分離検出されました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、A香港型インフルエンザウイルスが1例、アデノウイルス2型が3例、アデノウイルス5型が1例、ライノウイルスが3例、RSウイルスが2例分離検出されました。
- ・百日咳の患者の喀痰から、RSウイルスが1例検出されました。
- ・ムンプスの患者の咽頭ぬぐい液から、ムンプスウイルス(hoshino株)が1例分離検出されました。
- ・発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型が2例検出されました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の発生について (3月14日、15日、19日発表分)

盛岡市内の特別養護老人ホーム (入所者51名、職員39名)

- ・3月8日 (金) から3月14日 (木) にかけて20名 (入所者12名、職員8名) に症状 (嘔吐、下痢等)
- ・有症者8名中8名 (入所者3名、職員5名) からノロウイルスを確認

滝沢村内の小学校 (児童155名、職員16名)

- ・3月12日 (火) から3月14日 (木) にかけて19名 (児童18名、職員1名) に症状 (嘔吐、下痢等)
- ・有症者10名中8名 (児童8名) からノロウイルスを確認

盛岡市内の特別養護老人ホーム (入所者56名、職員28名)

- ・3月8日 (金) から3月19日 (火) にかけて25名 (入所者15名、職員10名) に症状 (嘔吐、下痢、腹痛、発熱等)
- ・有症者7名中7名 (入所者3名、職員4名) からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について (3月14日、19日)

- ・岩手県発表 2件
- ・盛岡市発表 0件

詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1&pnp=3324&pnp=4104>

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

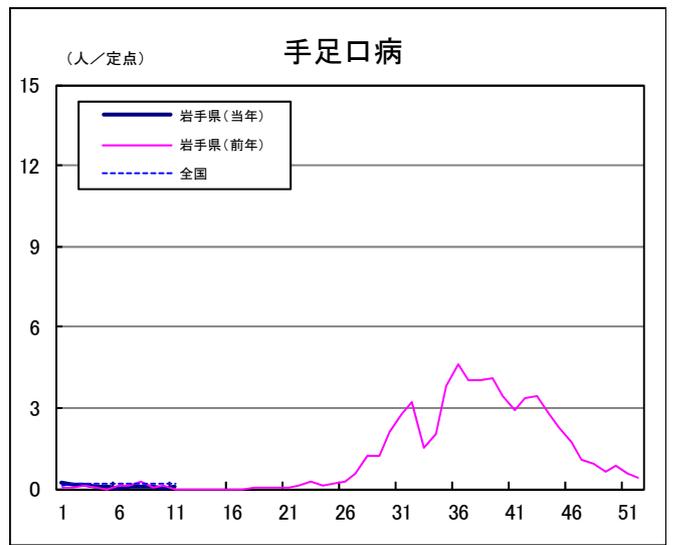
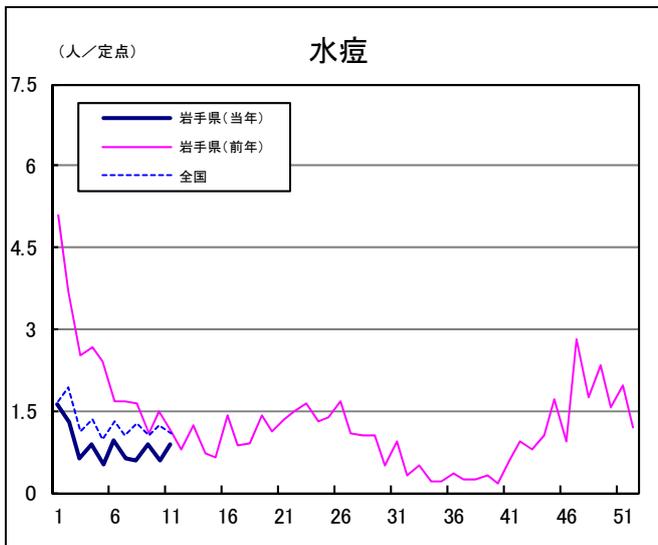
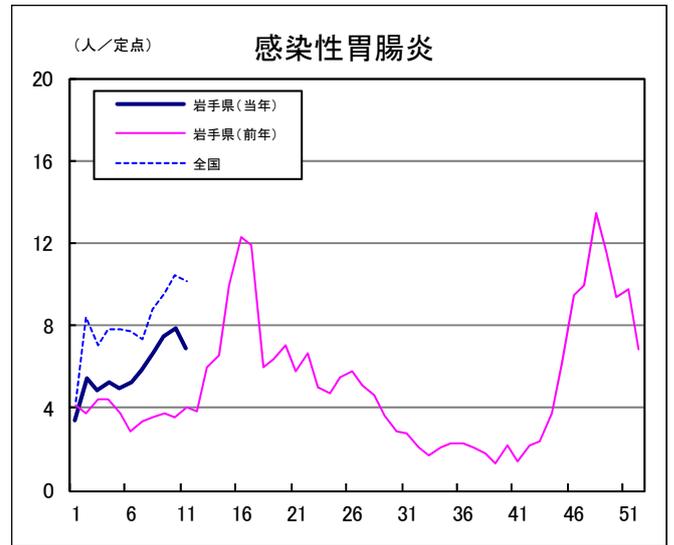
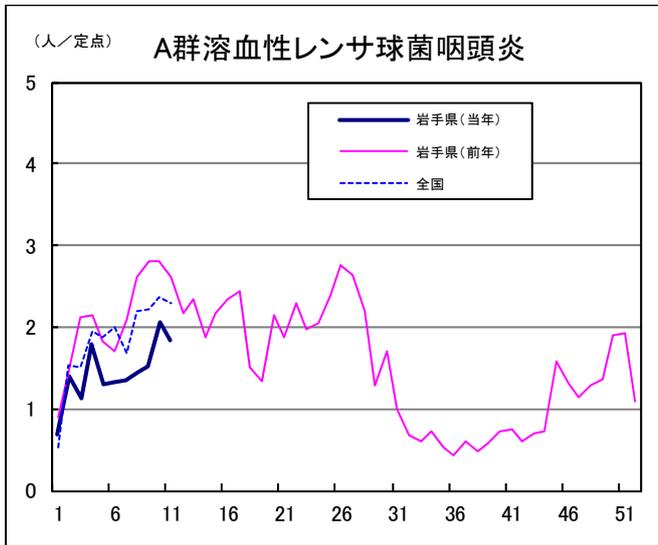
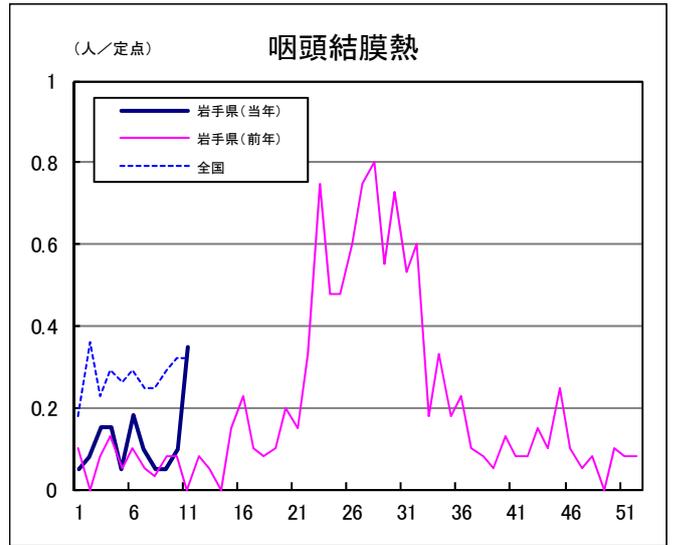
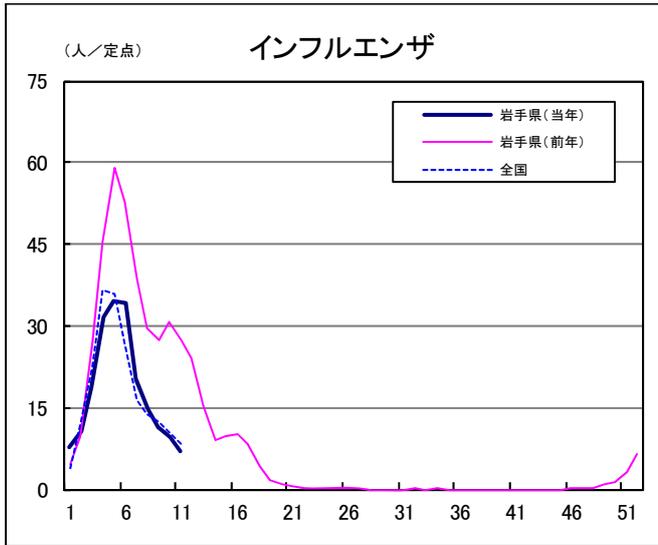
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

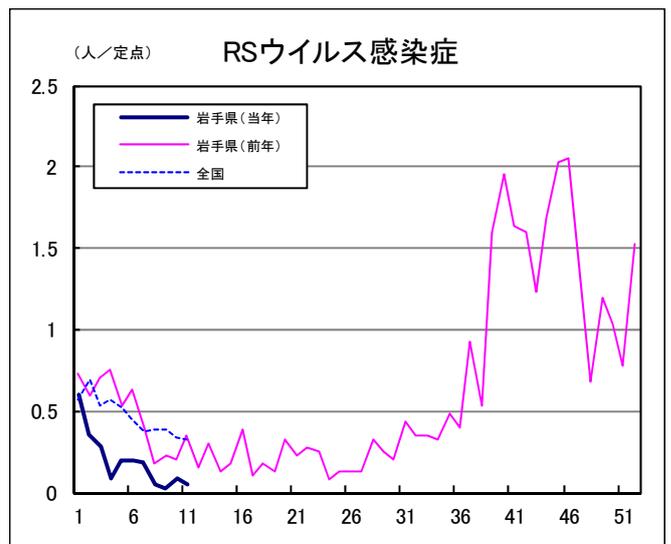
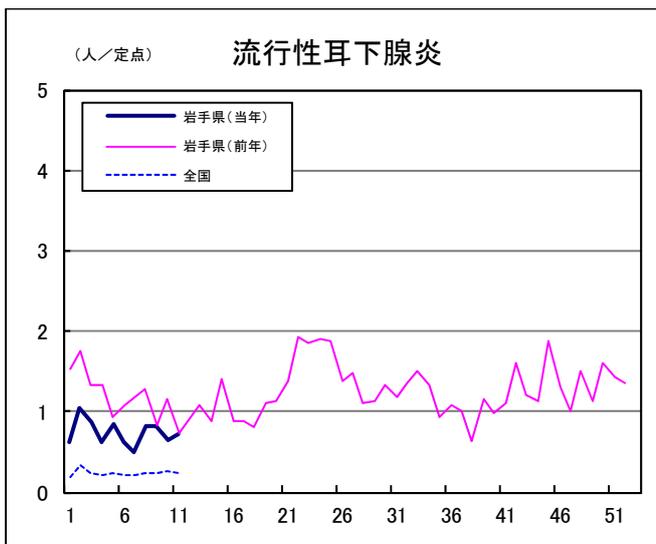
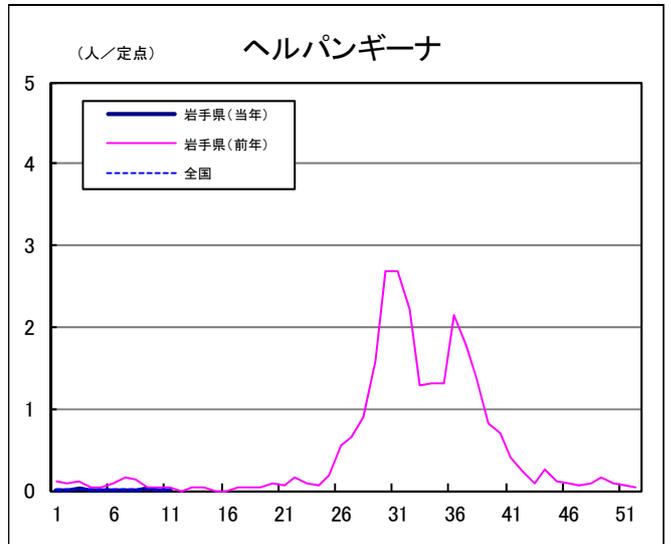
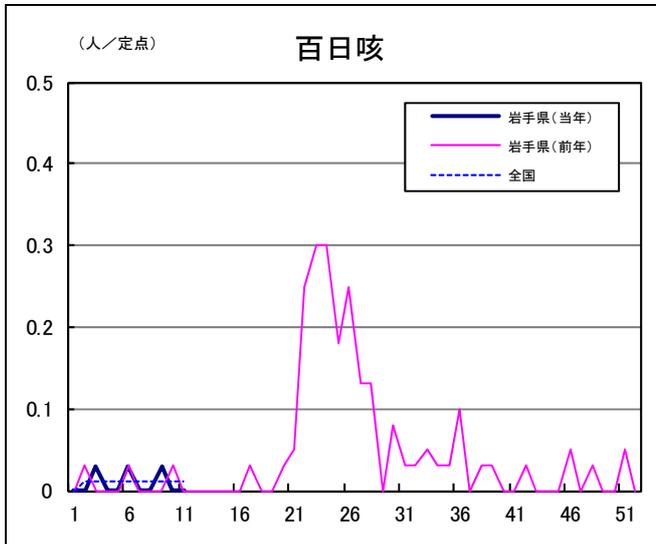
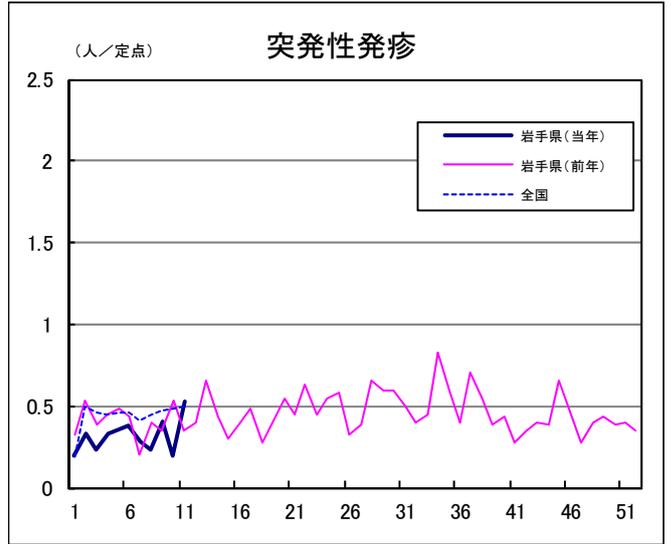
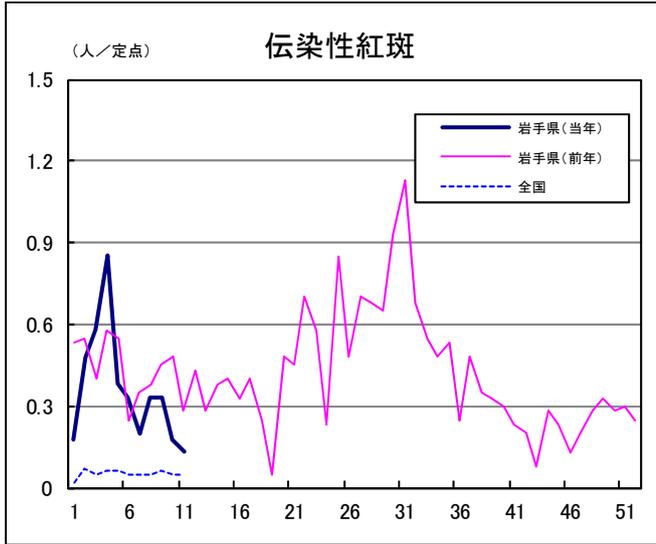
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

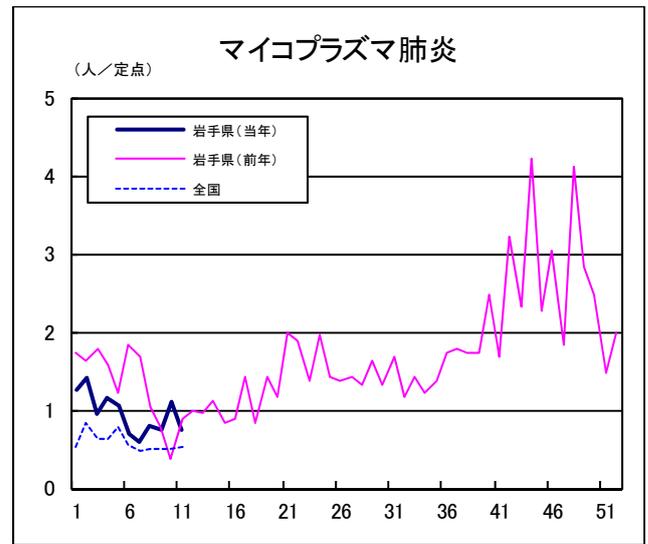
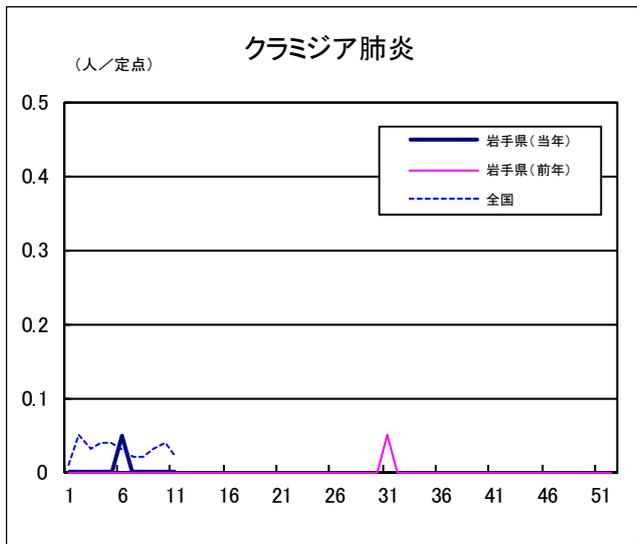
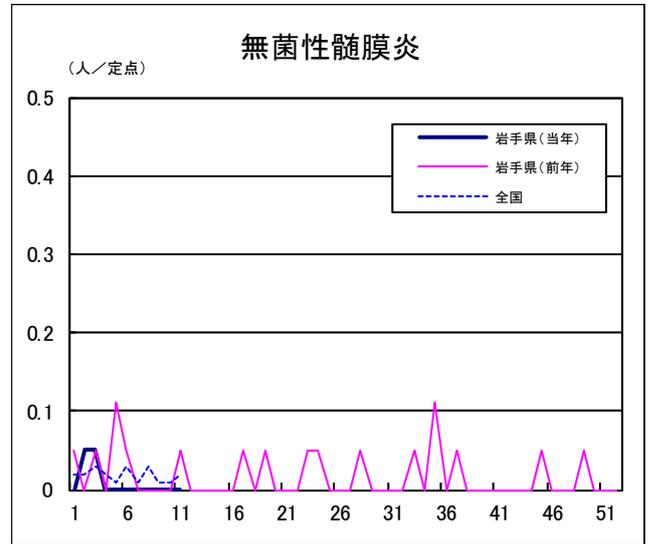
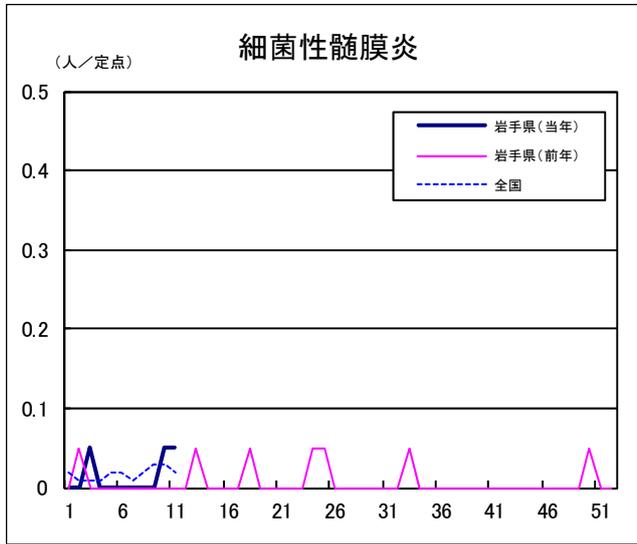
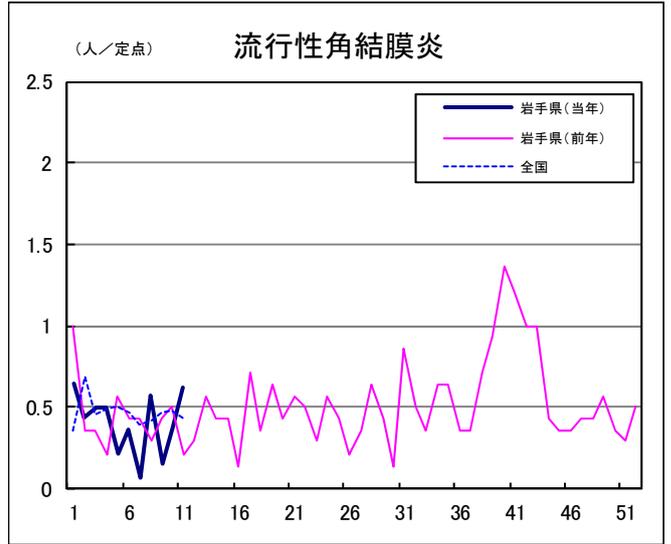
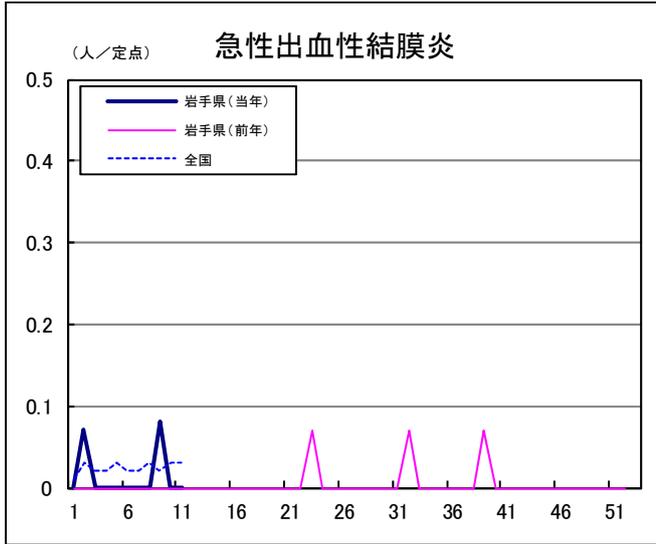
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	13	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	1	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第11週 平成25年3月23日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>